

環境科学セミナー(成果報告会) アンケート結果

【開催情報】 令和 4年12月16日(金) 13:30~15:50, アートホテル弘前シティ

基調講演：床次 眞司「弘前大学被ばく医療総合研究所による福島県浪江町復興支援活動への取り組み」

成果報告

1：田内広「トリチウムってなに？～トリチウム生体影響研究のこれまでと課題～」

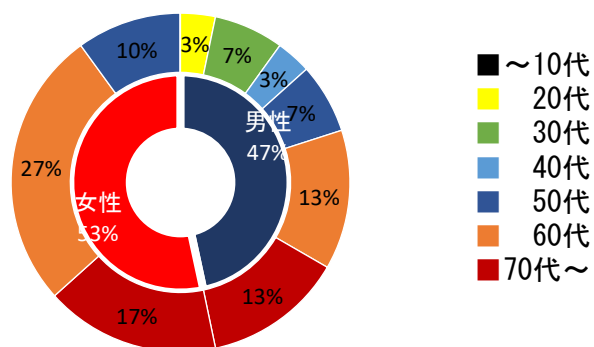
2：三谷 啓志「地域と共に歩む ～六ヶ所村をはじめ青森県で進めている理解醸成活動～」

3：パネルディスカッション

1. 参加者： 35人 (アンケート回答者：34人、回答率：97%)

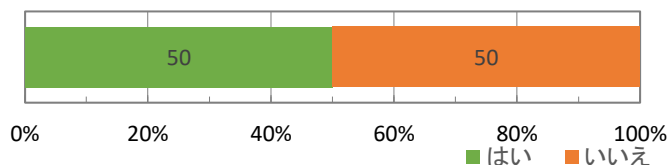
内訳:人	男性	女性
～10代	0	0
20代	1	0
30代	2	0
40代	1	0
50代	2	3
60代	4	8
70代～	4	5
合計	14	16

(性別無記載:2人、年齢無記載:2人)



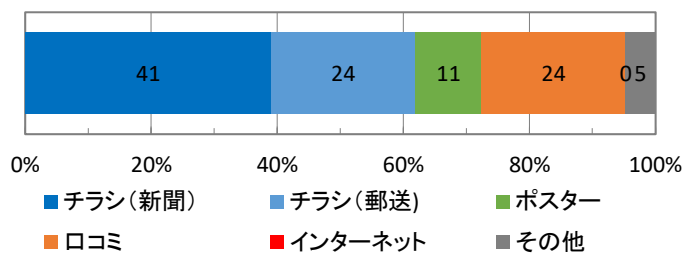
2. 来歴

はい	17
いいえ	17
無記載	0



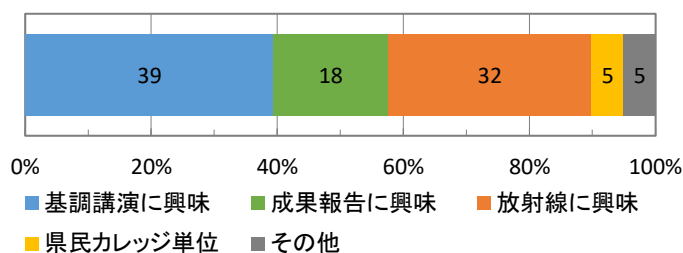
3. 周知方法 (複数回答可)

チラシ(新聞)	15
チラシ(郵送)	9
ポスター	4
口コミ	9
インターネット	0
その他	2
無記載	0



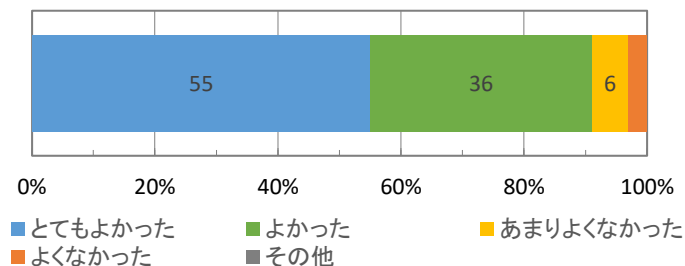
4. 参加動機 (複数回答可)

基調講演に興味	22
成果報告に興味	10
放射線に興味	18
県民カレッジ単位	3
その他	3
無記載	1



5. 評価（基調講演）

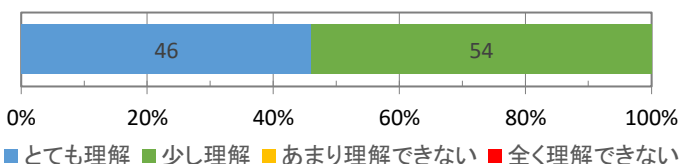
とてもよかった	18
よかった	12
あまりよくなかった	2
よくなかった	1
その他	0
無記載	1



6. 評価（成果報告）

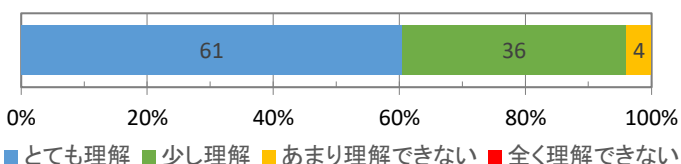
プログラム1: 田内広「トリチウムってなに？～トリチウム生体影響研究のこれまでと課題～」

とても理解	13
少し理解	15
あまり理解できない	0
全く理解できない	0
無記載	6



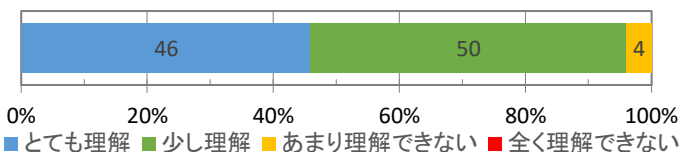
プログラム2: 三谷 啓志「地域と共に歩む ～六ヶ所村をはじめ青森県で進めている理解醸」

とても理解	17
少し理解	10
あまり理解できない	1
全く理解できない	0
無記載	6



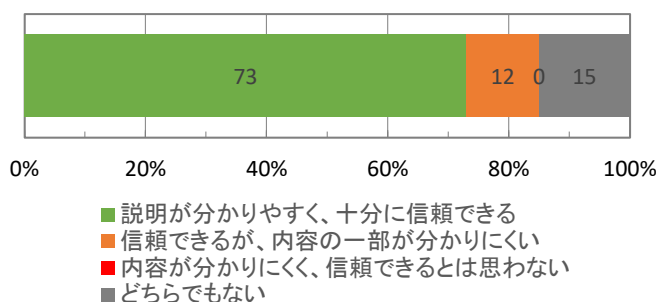
プログラム3: パネルディスカッション

とても理解	11
少し理解	12
あまり理解できない	1
全く理解できない	0
無記載	10



7. 機関、その発信に対する信頼性

説明が分かりやすく、十分に信頼できる	19
信頼できるが、内容の一部が分かりにくい	3
内容が分かりにくく、信頼できるとは思わない	0
どちらでもない	4
無記載	8



8. 上記設問の自由記載

周知

- ・青森県に住んでおりますので個人的には私のライフワークとしてなるべく学習会に参加したいと思います。

基調講演

- ・当時知らなかった影の努力を知ることができました。
- ・弘前大学が2011年事故当初から福島支援に関わっていることがよく分かった。床次先生が福島への支援について期限は決まっておっしゃったこと、素晴らしいと思いますし、続きをお聞かせいただきたいです。インドケララの高自然放射線地の話がありましたがなぜだろうともっと知りたくなりましたが、冊子の「放射線の基礎知識」にありました。資料もとても良いですね。
- ・福島における現地活動内容が少し理解できた。
- ・聴いている中で栄養学にも似ていると思ったら放射線についてがスッと入ったように感じた。
- ・ALPS処理水の放出について興味があり参加いたしました。大変参考になりました。
- ・大変な思いをして様々な支援をしてきたことがわかりました。あの恐ろしい日々の中スタッフ一同の取組に感謝申し上げます。世界の平和のためにもこれからも頑張ってくださいですね。
- ・地元の大学被ばく医療の重要性、国家任務の重要性に弘大を誇りに思う。そこに興味がありまして参加しました。
- ・弘大REMの発表を祈念します。
- ・青森県にとっても非常に危険地区であることを心配した。
- ・高齢の為聞こえが良くなかった。画面も同様である。
- ・福島への支援はあまり知られていないので、その実態が理解できて良かった。
- ・弘大での研究者は何人位、どれ位のテーマで研究数があるのか示してくれればよいと思う。

成果報告

- ・「目指すもの」はわかったが、具体的活動状況、成果をパネルに表示してほしかった。
- ・新聞などの報道では不十分な知識をきちんと、学ぶことができました。
- ・トリチウムについて何がわかって何がわかってないのかや、環境研が取り組む共創活動についてよく理解できた。またパネル展示があり研究所員の説明を受けることで講演の中身をより深く理解することができた。”
- ・会場内の展示にご説明くださった職員の方、ありがとうございました。直接展示物を見ながらいろいろご質問させていただき、お答えをもらったこととても勉強になりました”
- ・広報、理解活動についてさらにききたかった。
- ・トリチウムの人体影響に与える具体データが出そろうまでは時間を要することがわかった。
- ・参加しなければわからない活動を知る事ができた事は学びの糧になった。
- ・海外でのALPS水の海洋水放出状況をお伺いしたかったです。
- ・青森に続き2回目のトリチウムの説明でだいぶ理解できました。参加してよかったです。
- ・動物のパネルがなごみます。
- ・初めて伺った内容もあり大変わかりやすいご講演でした。トリチウムを知った共創センターを知った。
- ・専門的すぎて超難解だった。多分明日忘れていくかも…。ただ水の中に溶けていることはわかりました。
- ・パネル展示はとてもわかりやすく説明してくださったので特にわかりやすい。今後も続けてほしい。
- ・スカークラブ青森サロン、原燃レディースモニター、エネルギー講座、エネルギー懇談会弘前等機会が私の場合は幸い触れるので若い世代子供達にも教育の中に浸透して欲しい。
- ・トリチウムが人体に与える影響、福島処理水が海洋放出されるとどのような事態が起こるのか本当に心配するようなことがないのか。

9. セミナーに関する意見・要望

- ・原子力発電と社会との関わり
- ・環境放射能や生体影響に係る研究活動だけでなく、地域とのコミュニティなど幅広い活動がされていることを理解しました。ありがとうございました。
- ・司会をされた方が、更に分かりやすいように進行して下さったことはとても良かったと感じました。今日はありがとうございました。とても理解が深まりました。一つのテーマだけでなく3名それぞれがお話し下さったことでより興味もわいてもっと知りたいなと思います。結びのお話、島田所長様から本当に心に響くお言葉をいただきました。本当に素晴らしいしめくりでした。
- ・大変興味深かったです。しかし理解には時間が足りません。また機会があったら参加したいです。
- ・今回と同様に成果をお伺いしたいと思います。青森県に住んでいても聴講しないと状況が見えてこないからです。今後もよろしく願いいたします。大変勉強になりました。
- ・また意欲がわいてきましたので勉強しなおしたいと思います。お話しありがとうございました。環境科学技術研究所の研究に敬意を表します。
- ・六ヶ所に見学に行ってみたいです。
- ・報道特集で取り上げられるようになるといいですね。理解醸成増進活動についてもっとアピールされるべきかと感じました。もったいないくらいわかりやすい情報でしたので。メディアに訴えていただければ幸いです。サイエンスフェアに行ってみたいです。
- ・被ばく医療の現場(スライド)が見たいです。実際どのように活動するのでしょうか？今日は為になるお話しありがとうございました。あとコーヒーも。予算大丈夫でしょうかちょっと心配になりました。
- ・トリチウムの今後の成果もご報告してほしい。
今回初めて参加しました。いろいろと地域住民に理解してもらうための努力について知ることができました。
- ・放射性物質は目に見えないものなので見える化は重要です。組織の客観性は常に問われます。世界から日本の対応が正しく評価されるよう活動されることを期待します。ありがとうございました。
- ・次回もまた楽しみにしておりますのでよろしくお願いいたします。
放射線の学習を地域のみな様にもよく理解してもらえるような機会を。ボリュームをもう少し高めて欲しかった(ききのがしが多く残念でした)
- ・福島現場は11年前とあまり変わっていない感じでやはりデブリの取り出しに手間取っているのだと思う。今の日本の現状を原子力だけで打開しなくてはならない最終処分場もっと加速して進めなくてはならない。
- ・環境科学技術研究所は、弘前に住んでいる私達にはなじみがなく、ほとんど知らない人が多い。
- ・間もない組織？メンバーには有名実務者と見受けられますが、地元に住んで研究される方をメインスタッフとすればもっと共創が染まると思う。